

## クレディスイス世界4資産巧配分ファンド 愛称 巧(たくみ)

### 戦略的投資配分変更のご報告

2006年8月18日

「巧」の資産配分は8月に入りコモディティーを削減し、代わりにグローバル株式のウェイトを増加させました。下記は、その背景についてのコメントです。

米国で最近発表されたインフレ指標はやや落ち着きを取り戻していますが、FRB(米連邦準備制度理事会)はまだ警戒姿勢を続けると見られます。グローバル経済の中長期的成長は維持されるものの、当面の生産活動は減速しつつあると見られます。

このような環境下でコモディティーはここ数ヶ月レンジ内の動きに入っています。コモディティーの中でもエネルギーや貴金属は生産能力の制約や地政学的リスクといったサポート要因も考えられますが、産業用金属などは米国景気減速の影響を受けやすいと考えられます。

このように、当面コモディティーは横這い(すなわち、短期金融商品と同程度のリターン)が見込まれるため、そのウェイトを削減し、相対的に高い収益の見込まれるグローバル株式へ資産をシフトいたしました。今後インフレ懸念がより後退した場合、グローバル株式市場のウェイトを更に積み増すことも考えられます。

なお、8月に入り、コンティニューアス・コモディティー・インデックスは2.7%下落する一方、MSCI世界株式指数は2.3%上昇しています。(いずれもドルベース、8/17現在)